

## 研究機関名：東北大学

受付番号： 2014-1-813
研究課題名 JGOG2049S 子宮平滑筋肉腫の診療実態に関する調査研究
研究期間 西暦 2015年4月（倫理委員会承認後）～2017年5月
対象材料 ■病理材料（対象臓器名 子宮） □生検材料（対象臓器名） □血液材料 □遊離細胞 ■その他（カルテデータ）
上記材料の採取期間 西暦 2000年1月～2015年2月
意義、目的 【目的】 子宮平滑筋肉腫の新たな治療開発を模索するため、本邦における子宮平滑筋肉腫の疫学、診断、診療の実態とその予後を調査する。 【評価項目】 1) 子宮平滑筋肉腫の疫学特性 2) 子宮平滑筋肉腫の病理学的特性 3) 子宮平滑筋肉腫の診療の実態 4) 子宮平滑筋肉腫の予後解析 単施設では症例が少なく、得られる情報が少ないため、全国的に調査することにより、子宮平滑筋肉腫に関する実態が明らかになるとともに診断、治療に関するエビデンスを構築することが可能と考えられます。
方法 【本研究の対象】 2000年1月から2012年3月までの期間で当院において、子宮平滑筋肉腫の診断で子宮摘出を受けた方 【中央病理判定】 既存の病理標本を集めて診断の正確性を検証します。 【カルテデータの抽出】 個人を特定できる情報を覗いた臨床情報（年齢、治療内容、臨床経過）を利用させていただきます。個人情報の漏洩がないように、十分注意します。 使用する病理標本と情報は匿名化した上で、研究代表者（四国がんセンター）に送付し、解析に使用されます。
問い合わせ・苦情等の窓口 東北大学病院 婦人科 徳永英樹（助教） 電話 022-717-7254 ファックス 022-717-7258